

「鉄道開業150周年記念貨幣」発行に係る広報活動

佐賀財務事務所では、佐賀県が10月23日（日）に開催した「第5回さが維新まつり」に参加し、財務本省や独立行政法人造幣局と連携しながら「鉄道開業150周年記念貨幣」の発行に係るPR活動を実施しました。

佐賀県は、佐賀七賢人の一人である大隈重信侯が主導して造った「高輪築堤」の石材の一部（高輪ゲートウェイ駅周辺の再開発工事の際に発見）をJR東日本から譲り受け、令和4年4月から県立博物館等へ移設・展示しています。

当事務所では、今年8月に「高輪築堤」がデザインされた「鉄道開業150周年記念貨幣」の発行が公表されたことから、記念貨幣の発行や大隈侯の功績をより広く周知するため、佐賀県及び県立博物館の協力のもと、佐賀城内の2箇所（鍋島直正公像前、県立博物館内）にPRブースを出展しました。

鍋島直正公像前のテントブースでは、造幣局のマスコット「コインくん」と一緒に、記念貨幣のパフレットやノベルティグッズを配付しながら、記念貨幣をPRしました。

また、県立博物館内に設置したブースでは、造幣局が所蔵する佐賀県ゆかりの記念貨幣や大隈重信侯が関わった明治時代の貨幣等を展示するとともに、造幣局職員が今回の記念貨幣や貨幣の歴史等を来場された方へ説明しました。

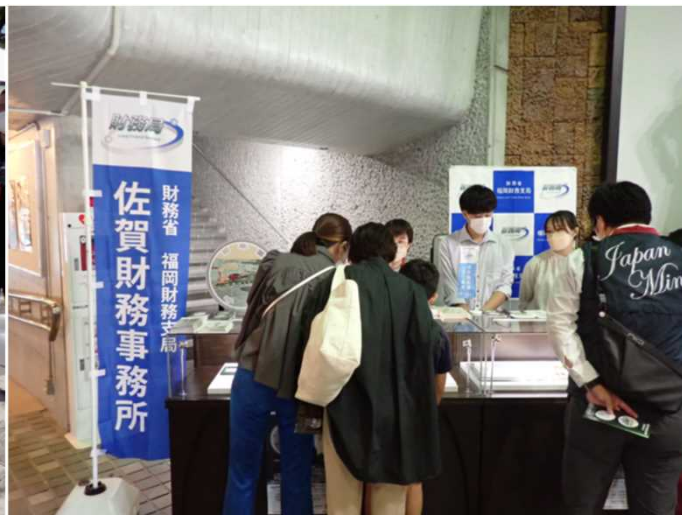
当事務所では、今後も地域のニーズを踏まえた取組みを行いながら、地域に貢献してまいります。



【記念貨幣（表面）】



造幣局 コインくん



県立博物館内展示ブース